

令和8年2月18日

鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務 公募型プロポーザルの最優秀提案者等の決定について

令和8年2月15日に開催された第3回鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務公募型プロポーザル審査会（以下、設計審査会）において、一次審査を通過した5者から提出された提案について、「県民の健康増進とスポーツの振興に加え、イベントにも有効活用できる施設」など5つのテーマに沿って議論がなされ、5者5様の魅力と可能性を持っていると評価された。

その上で、採点の結果、評価点の最も高かった梓設計・SUEP・東条設計共同企業体が最優秀提案候補者に選定され、次に高かった坂茂建築設計・松田平田設計・永園設計共同企業体が次点提案候補者に選定された。

県においては、設計審査会における選定結果等を踏まえ、下記のとおり、最優秀提案者及び次点提案者を決定した。

記

1 最優秀提案者

梓設計・SUEP・東条設計共同企業体

【決定理由】

設計審査会において、次の点が高く評価され、評価点の合計が最も高かった。

○ テーマ1 「県民の健康増進とスポーツの振興に加え、イベントにも有効活用できる施設」については、諸室をフラットに配置することで、メインアリーナとサブアリーナの連携した利用を可能とするなど、主催者・運営者にとって使いやすい施設とするための工夫がなされている点等が評価された。

○ テーマ2 「桜島の景観を望む本港区エリアにふさわしいデザインを備えた鹿児島のシンボル的施設」については、のびやかで魅力的な外観デザインであり鹿児島のシンボル的な建物となることが期待できる点や、吊り屋根の工夫によって桜島の眺望への配慮がなされている点等が評価された。

一方で、屋根形状の主張が強いので、桜島との調和に一層留意する必要があるとの意見もあった。

○ テーマ3 「インバウンドを含めた観光振興や賑わいの創出、中心市街地の活性化」については、全方位からのアプローチが可能な配置で、また、提案の中で唯一、建物の正面が中心市街地側に開かれており、県民や観光客が気軽に立ち寄れるための工夫がなされている点等が評価された。

一方で、どのように賑わいを創出するのか更に工夫する必要があるとの意見もあった。

- テーマ4 「障がい者や高齢者も安全で利用しやすいユニバーサルデザインの実現」については、車椅子利用者や子ども、高齢者などの利用を想定し、全ての施設が水平につながるほか、東側と西側に緩やかなスロープが配置される提案となっており、誰もが使いやすいよう工夫されている点等が評価された。
- テーマ5 「構造性能・環境性能の合理化、災害対応機能の分散・強化」については、諸室をフラットに配置することにより共用部面積を効率化することや、吊り構造により屋根を軽量化することで、建設費を抑制する提案となっている点等が評価された。

また、火山灰や雨水を効率的に排出する屋根形状や火山灰フィルターの設置が提案されており、降灰対策や雨水対策が評価された。

2 次点提案者

坂茂建築設計・松田平田設計・永園設計共同企業体

【決定理由】

設計審査会において、最高点を付けた委員の数は最優秀提案候補者に最高点を付けた委員の数と互角であり、評価点の合計も2番目に高かった。

また、建物を半地下構造にして高さを抑え敢えて目立たせない提案について、桜島そのものをシンボルと捉え、建物及び周辺の風景（ランドスケープ）と桜島との調和が考えられている点や、世界中での災害救援活動の実績を踏まえた避難所機能の提案である点等が評価された。

一方で、半地下構造とすることに伴う浸水対策について、万一の際の防潮板の故障など、対策の実現性を懸念する意見もあった。

3 今後の予定

今後、最優秀提案者と設計業務の内容について協議を行い、業務委託契約を締結する予定

【問合せ先】

鹿児島県観光・文化スポーツ部

スポーツ・コンベンションセンター整備課

TEL：099-286-2885／FAX：099-286-5597

E-mail : scc-seibi@pref.kagoshima.lg.jp